

令和6年度 地域課題解決型「広報みなと」配布業務委託にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和6年度 地域課題解決型「広報みなと」配布業務委託
契約期間：令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

- (波除小学校区) 波除地域活動協議会
(弁天小学校区) 弁天地域活動協議会
(磯路小学校区) 磯路地域活動協議会
(南市岡小学校区) 特定非営利活動法人南市岡地域活動協議会
(市岡小学校区) 市岡地域活動協議会
(田中小学校区) 田中地域活動協議会
(三先小学校区) 三先地域活動協議会
(池島小学校区) 特定非営利活動法人南市岡地域活動協議会
(八幡屋小学校区) 八幡屋地域活動協議会
(港晴小学校区) 港晴地域活動協議会
(築港小学校区) 築港地域活動協議会

3 公募期間（公告日～企画提案書提出締切）

令和5年12月27日から令和6年2月20日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員（敬称略）

委員氏名	役職等
藤原 慶二	関西福祉大学社会福祉学部 教授
泉 颯斗	大阪市ボランティア・市民活動センター
榮 泰隆	認定NPO法人 大阪NPOセンター

(2) 選定委員会の開催日

令和6年3月1日

(3) 審査基準

審査項目	審査基準	配点
業務の理解度	業務の目的及び内容を理解しているか	20点
遂行姿勢	業務遂行にあたっての総合的な視点・姿勢	10点
独創性	設定課題が適切か。解決手法の的確性、実現性、創造性	25点
広報紙の配布の実施方法	広報紙を決められた期間内に全世帯・事業所に確実に効果的に配布できるか	25点
習熟度	類似事業の実績の豊富さ	10点
積算の妥当性	費用は契約上限額内で見積もられており、積算根拠が妥当な内容であるか	10点
合 計		100点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

- ・磯路地域活動協議会
- ・市岡地域活動協議会
- ・港晴地域活動協議会
- ・田中地域活動協議会
- ・築港地域活動協議会
- ・特定非営利活動法人南市岡地域活動協議会
- ・波除地域活動協議会
- ・弁天地域活動協議会
- ・三先地域活動協議会
- ・八幡屋地域活動協議会

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）

（波除小学校区）

審査項目	
業務の理解度	43点
遂行姿勢	24点
独創性	52点
広報紙の配布の実施方法	60点
習熟度	25点
積算の妥当性	44点
合計	228点

（弁天小学校区）

審査項目	
業務の理解度	51点
遂行姿勢	24点
独創性	58点
広報紙の配布の実施方法	59点
習熟度	24点
積算の妥当性	22点
合計	238点

（磯路小学校区）

審査項目	
業務の理解度	57点
遂行姿勢	27点
独創性	61点
広報紙の配布の実施方法	70点
習熟度	26点
積算の妥当性	22点
合計	263点

（南市岡小学校区）

審査項目	
業務の理解度	48点

遂行姿勢	27 点
独創性	58 点
広報紙の配布の実施方法	66 点
習熟度	26 点
積算の妥当性	22 点
合 計	247 点

(池島小学校区)

審査項目	
業務の理解度	52 点
遂行姿勢	26 点
独創性	56 点
広報紙の配布の実施方法	61 点
習熟度	26 点
積算の妥当性	22 点
合 計	243 点

(市岡小学校区)

審査項目	
業務の理解度	44 点
遂行姿勢	22 点
独創性	57 点
広報紙の配布の実施方法	58 点
習熟度	25 点
積算の妥当性	20 点
合 計	226 点

(田中小学校区)

審査項目	
業務の理解度	48 点
遂行姿勢	24 点
独創性	60 点
広報紙の配布の実施方法	60 点
習熟度	24 点
積算の妥当性	20 点
合 計	236 点

(三先小学校区)

審査項目	
業務の理解度	43 点
遂行姿勢	21 点
独創性	54 点
広報紙の配布の実施方法	57 点
習熟度	25 点
積算の妥当性	22 点
合 計	222 点

(八幡屋小学校区)

審査項目	
業務の理解度	48点
遂行姿勢	26点
独創性	55点
広報紙の配布の実施方法	54点
習熟度	25点
積算の妥当性	20点
合計	228点

(港晴小学校区)

審査項目	
業務の理解度	48点
遂行姿勢	24点
独創性	66点
広報紙の配布の実施方法	61点
習熟度	26点
積算の妥当性	20点
合計	245点

(築港小学校区)

審査項目	
業務の理解度	52点
遂行姿勢	25点
独創性	62点
広報紙の配布の実施方法	59点
習熟度	26点
積算の妥当性	24点
合計	248点

(6) 選定委員の講評

- ・各地域によって特色はあったが、どの地域も共通して、見守り活動、新しい子育て世帯や転入者への関わりの必要性や重要性が根付いている。
- ・全体的にこの広報紙の配布を通じて、思いやりのある環境作りという同じビジョンを持っている。
- ・アプローチができていく地域もあると思うが、これからの地域を担って欲しい若手と子供たちや外国人住民の方など、関係が築けていない層にもアプローチしていただきたい。
- ・社会ビジネス化という点から考えると、このままでは地域活動レベルで終わってしまう気がする。せっかくこのような形で事業を行っているのであれば、NPO法人のような形で独立していく地域が増えるよう目指して行ってほしい。